

バラエティ番組を用いた日本語授業の振り返り
—香港の初級後半・中級の社会人学習者を対象にした実践から—
A reflection on teaching Japanese through variety show
— For adult beginner/intermediate learners in Hong Kong —

李 咏茵/梁 嘉欣
香港理工大学大学院生

要旨

本稿は、社会人の日本語学習者を対象に日本語の会話能力を高めることを目的として実施した、日本のバラエティ番組を用いた日本語授業の報告である。実施した授業を振り返るため、学習者からのフィードバックと教師自身の内省から、バラエティ番組を用いた授業の実用性を検証する。

キーワード：

日本語教育実践、実践研究、省察、振り返り、バラエティ番組を用いた授業

バラエティ番組を用いた日本語授業の実践及び振り返り —香港の初級後半・中級の社会人学習者を対象にした実践から—

李 咏茵/梁 嘉欣
香港理工大学大学院生

1. はじめに

国際交流基金(2013)が2012年に行った「日本語教育機関調査」では、世界の55.5%の学習者が「日本語でのコミュニケーション」を目的に日本語を学んでいるという。だが、従来の海外の学習者に向けた会話教材の多くは文法を重視し、場面別にカテゴリー化されたものが多く、日本語学習者でもある筆者達はその日常生活での実用性に疑問を持ち、授業の楽しさにも欠けていると感じていた。また、同調査では、香港の日本語学習者は学校教育以外の機関で日本語を学習する者の数が全体の7.5割を占めているとしている。そして、その多くの学校教育以外の教育機関の授業では、広東語や英語など学習者の母語や第2言語を用いて行われることが多く、学習者は普段から日本語に触れる機会も少ないと考えられ、会話能力が伸びにくいということも筆者自身の経験から考えられる。そこで、筆者達は学習者が日常的に日本語を聞ける・話せるようになるため、授業にバラエティ番組を生教材として導入することにした。本稿では、香港の社会人学習者に向けて行った実践を振り返り、バラエティ番組の授業への活用の意義について検討する。

2. 授業実践に向けての準備

2.1 授業の目的

筆者達は二人とも香港の日系企業に勤務し、それぞれ採用面接を行う面接官としての長年の経験がある。面接に来る日本語学習者及び採用者を観察していく中で、香港の学習者の多くは日本語能力試験1級・2級に合格し、中級・上級と判断される能力を持っていても、メールや報告書など一定の規則のある書類は十分に作成できるが、実際に日本語でコミュニケーションをしたりすることができないということを常日頃から感じていた。また、面接では学校で教わった決まりの回答が多いことから、学校の会話教材には実用性が欠けているのではないかと疑問に感じていた。そして、筆者が接する同僚達に日本語で勉強したいことは何かと尋ねると、ほぼ全員が会話能力の向上であると答えた。そこで、同僚達の日本語会話能力を高めることを目的に、授業実践を行うことにした。そこでは、前述した通り、通常の教科書では退屈になりやすいため、楽しく日本語を学べるようにと、日本のバラエティ番組を授業に取り入れることにした。

2.2 対象とする学習者のレディネスチェック

授業を行う前にはアンケートとインタビューを通してレディネスチェックを行った。今回集まった学習者は7人で、年齢は20代から30代であり、全員筆者達と同じ日系企業で働いている人達であった。参加者の多くは、日本人の顧客と日本語でやり取りすることが多いため、よりよい関係を築くためには、日本語の日常会話の能力を高めたいと考えているようであった。すでに述べた通り、会話が苦手というのは広東語を母語とする日本語学習者の共通の欠点とも言われており、今回の学習者達も主に広東語で日本語の授業を受けていた。学習者は日本語能力試験 N3 から N1¹のいずれかに合格しており、日本語を3年から23年勉強していた。いずれの学習者も会話能力に学習の困難さを感じていていた。

23年間日本語を勉強した学習者は香港人と日本人のハーフで、母親が日本語教師をしているということで、彼に授業の全体を見てもらい、授業を評価してもらった。第三者に授業を評価してもらうことでより客観的で、建設的な授業の改善・向上が期待できると考えた。

2.3 教材デザイン

中山(2008、2012)と吉村(2010)は映画を用いて日本語授業を実践することは、映像教材としての価値を肯定し、文化的交流と異文化理解にも効果的であるとしている。なお、香港でバラエティ番組を用いた授業を報告している趙・鄔・滕(2014)も日本のテレビ番組やドラマは日本語教育で貴重なリソースであると指摘している。だが、ドラマや映画はストーリーや人物の関係性を理解しておかなければ教材として使用しにくいと考えられ、本実践では内容を取りきりやすいバラエティ番組を使うことにした。授業で用いるバラエティ番組の候補として、「クイズ! それマジ!? ニッポン(以下、それマジ)」、「ザ! 世界仰天ニュース(以下、仰天ニュース)」、「痛快TV スカッとジャパン(以下、スカッとジャパン)」、「ニンゲン観察バラエティ『モニタリング』(以下、『モニタリング』)」を考えた。

「それマジ」は、番組で使用される日本語は日常的に見られるものも多く、教材としては利用できると感じられたが、番組内ですでに詳しく解説が行われているため、教材というよりも学習者への参考資料として勧めることにした。「仰天ニュース」と「スカッとジャパン」はショートドラマから構成される番組で、短い動画は授業の時間

¹ 2010年(平成22年)の改定で、従来の1級から4級の資格がN1からN5の5段階になった。

内で効果的に使用することができる。だが、「仰天ニュース」はドキュメンタリーや事件の内容が多く、内容は深刻で、日本語も難しいと考え、本実践の対象者である中級レベルには採用しなかった。そして、「スカッとジャパン」はクレームに使用する表現などが多く、演技が不自然に誇張的で、日本語の学習の教材として向いていないと判断し、採用しないことにした。したがって、日本の人々の日常生活を観察する「モニタリング」を採用することにした。この番組は、日常の日本語を聞くことができ、またテーマも設定されているため、グループディスカッションにも向いていると考えた。

なお、筆者達が香港で働く日本語教師を対象に行ったインタビューでは、会話の授業では学習者の興味を引くことが難しいということも聞かれた。だが、「モニタリング」は面白さもあり、学習者の興味を引きつけることができるのではないかと考えた。また、番組では字幕テロップが多数使用されており、難しい漢字や聞き取れない箇所は字幕テロップで確認できる。

2.4 授業内容・シラバス

筆者の二人が最初に日本語を勉強した時、李は日本人教師から直接法で教わり、梁は広東語・英語で教わった。筆者達の経験から、直接法のメリットとして会話能力が伸びやすく、その一方で学習者が全部内容を理解することは難しいというデメリットがあることを感じていた。そして、学習者の母語で教わった場合は、その逆であると考えられる。本実践では筆者達二人が連携して授業を行ったため、基本的には日本語で授業を行うが、詳しい説明や学習者が理解しないところには広東語でサポートすることにした。また、少人数のクラスであったため、学習者一人ひとりに発表してもらったり、回答してもらったり、できるだけ日本語で話してもらうようにした。

本実践では、話題シラバスを取り入れた。「モニタリング」には様々な題材があり、その中から話題を広げやすい「温泉」と「カップルのけんか」を選択した。また、トップダウンモデルを利用し、学習者達に話題や背景を予想させ（前作業）、内容を確認し（本作業）、最後に文法に関する説明を行った（後作業）。授業は約2時間だった。

3. 授業実践と考察

今回の授業実践は「モニタリング」に合わせ、教材をデザインし、授業を進めた。本節では、教材について前作業・本作業・後作業に分けて詳しく説明する。

3.1 前作業

本実践でのテーマは「温泉」と「カップルのけんか」の二つである。学習者の興味を引き、これから見る番組の内容を予測させるため、各テーマの前には「ウォームアップ」を行った。

まず、「温泉」についての授業では、まずは学習者が話してもらうよう、「温泉に入ったことがありますか」を聞き、何人の学習者が台湾や日本で体験談を話してもらった時、学習者は日本の「銭湯」と「温泉」の違いを分からないことが分かり、補足情報として説明した。

次に、二つのテーマも「ウォームアップ練習」を準備した。「温泉」は入浴マナーのマッチング練習（図1を参照）で、「カップルのけんか」では番組の冒頭に出てくることわざの意味（図2を参照）を考えさせ、そして意味を教えた。マッチング練習では学習者たちがお互いに話し合いしながら正解を導いたが、ことわざは普段あまり使われない言葉で、答えを導き出すため、「彼はとても機嫌が悪いから、話しかけない方がいいよ。触らぬ神に祟りなしというからね。」などの具体例を用いて説明を試みたが、難しいという学習者の声があったため、最後は広東語でも解説した。

図1：「温泉」のウォームアップ練習

A. 下記のイラストを見て、どのマナーを表していますか。

ア	イ	ウ
エ	オ	カ

図2：「カップルのけんか」のウォームアップ練習

▼ ウォームアップ

A. この二つのことわざの意味を考えてみてください。

1) 触らぬ神に祟りなし



2) 夫婦喧嘩は犬も食わない



次に、教師から学習者に質問をすることで、簡単な会話を行った。だが、観察したところ、学習者達は書く練習に対しては集中しているものの、会話の練習には少々苦手意識を持ち、日本語で話すことを恥ずかしいように感じているようで、積極的に話さなかった。

3.2 本作業

「ウォームアップ」の後、学習者に『モニタリング』を見せた。本実践で用意した2本の動画はそれぞれ10分前後である。学習者がきちんと内容を理解したかを確認するため、書く練習（図3を参照）を行い、質問になるべく日本語で答えてもらうようにした。

図3：番組内容に合わせて作った書く練習

B. ビデオを見て、下記の単語を確認しましょう。

しきたり	モニター調査	仕掛け	戸惑い	ざわつき	点呼	スルー
切ない 洗い場 不信心 不機嫌						

C. 下記の類似語はB.のどの言葉に当てはまりますか。答えを_____に書いて下さい。

習慣	_____	困惑	_____	見て見ぬふり	_____
企み	_____	心苦しい	_____	賑やか	_____

C. まずは関東編のビデオを見て、どんな文句・不満を言ったのか、またその文句・不満にどのようなアドバイスがあったのを聞き取り、メモしてください。

	どんなことについて文句を言ったのか	どういうアドバイスがあった
1		

また、自分の経験と意見を述べられる力を身につけて欲しいと考えたため、番組に関するいくつかの話題をグループで話させたり、発表させたりした。だが、グループ内では広東語と日本語の両方を使って話し合っていたが、発表では、教師から促しても自発的には話してはくれなかった。日本語で話すことに対して苦手意識を持っているため、教師達が広東語の媒介語を使い誘導をすると、少しではあるが、話してくれた。なお、漢字の単語はある程度推測できたが、平仮名の単語、特に「スルー」のような和製英語は少し難しいものもあるようで、答え合わせの時に一つ一つ説明した。

3.3 後作業

番組を見終わり、話題について話し合ってから、学習者が単語・文法・表現についてきちんと理解できるように、後作業では文法などを詳しく説明することにした。「温泉」の授業では、決まりについてはウォームアップで説明していたため、後作業では温泉についての文章を使って、擬態語を紹介した（図4を参照）。擬態語はテレビやアニメでもよく使用される表現で、学習者達の興味を引き付けることができた。参考した教材はイラストもあるため、学習者はイラストと内容を読みながら話し合い、答えを割り出すことも見られた。

図4：擬態語のマーチング練習及び解説

(参考教科書：絵で分かる日本語使い分け辞典 1000 P. 45, 48)

D. 下記のイラストを見て、擬態語の番号とマッチングしてください。分からなかったら解説を参考してください。



続いて「カップルのけんか」では番組の中に出てきた言葉を書き起こし、学習者にとっての表現なのかを考えてもらい（図5を参照）、最後に各表現について詳しく説明した（図6を参照）。会話力を高めることが目的であったため、表現は話し言葉のみ紹介した。また、会話においてイントネーションによって、気持ちの表現が異なるため、教師が説明の時にもわざとイントネーションを強調し説明を行った。

図5：表現を考える活動

（参考資料：聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級編）

D. もう一度ビデオを見て、イントネーションを注意しながら、下記の表現を確認してみましょう。下記のフレーズはどの表現ですか。

ア) 文句を言う イ) 言い訳する ウ) 行為を要求する エ) 提案

- 1 言ってほしいタイミングに言ってくれたことないじゃん ()
- 2 不安なんだもん ()
- 3 彼女が「言ってほしい」って言ってるんだったら、言った方がいいと思います ()
- 4 断ればいいじゃん、行かなくても良くない? ()
- 5 私だったら断るけどね! ()
- 6 付き合いとかもあるでしょ? ()
- 7 バレル嘘はつかないほうがいいと思います。つくなら突き通した方がいいと思います。 ()

4. 評価と省察

本実践を振り返り、授業を客観的に評価するため、学習者、学習者と教師以外の第三者、教師の3つの視点から授業を評価することにした。以下、詳しく説明したいと思う。

4.1 学習者からの評価

授業が終わった後、学習者に評価シートを記入してもらった。表1に評価シートの構成と質問項目を挙げる。

表1：学習者による評価シートの構成と質問項目

構成	質問数	回答方法	質問内容
A. 授業全般について	10	選択式	① 番組・ビデオについて ② バリエティ番組を用いた教え方 ③ 練習の内容・学習量 ④ 教師の話すスピードや言葉遣い
B. 授業の内容について	3	記述式	① 授業で良かった所 ② 授業で難しかった所 ③ 授業で改善してほしい所

「A. 授業全般について」の質問は上記の通り、学習者に選択式で点数を付けてもらった。1から5点あり、1は「思わない」、5は「強く思う」である。結果を統計し、各質問の平均点数は4点以上で、全体的には満足していたと考えられる。

そして、「B. 授業の内容について」の記述式質問は3つある。授業の良かったところについては、番組は面白く、会話部分は実用的で、擬態語が面白かったなどの意見があった。それから、授業で難しかったところについては、番組の話すスピードが早すぎてうまく聞き取れなかったと、単語の説明は足りなかったので意味を十分に理解できなかった、の2点があった。番組については字幕テロップがあったため、内容を理解できたという意見もあった。本指摘を改善するため、今後は番組に日本語の字幕を入れることを考えている。日本語の字幕を入れると、学習者が理解しやすくなり、表現も確認できるだろう。

次に改善してほしいところについて、学習者のコメントは(1)使用言語、(2)番組について、(3)教育スキルの三つにまとめられる。授業では主に日本語を使用し、単語・文法・言語表現なども日本語で説明した。それに対して、理解がしにくいため、もう少し広東語・英語などの媒介語を入れたほうが良いという意見があった。また、ことわざや単語の説明では、日常で使える例文も紹介してほしいという声もあった。

続いて、番組を見終わった後、すべて理解できたとは判断できない学習者もいるため、一度みんなで番組の内容を広東語で確認した方が良いという意見もあった。最後に、学習者が授業の内容を本当に理解しているかどうか、次のセクションに入る前にもう一度確認する必要があるという声もあった。そして、会話練習に設定したディスカッションでは、初・中級の日本語レベル学習者には自由回答の質問を避けたほうが良いという意見もあった。

4.2 第3者からの評価

前述のように、本実践を第三者であるSさんに授業を見てもらい、評価してもらった。Sさんは香港人と日本人のハーフで、広東語と日本語のバイリンガルである。Sさんに教材、授業と学習量の3方面から評価してもらった。

まずは教材について、今回の授業で教えた単語は初・中級レベルの日本語学習者に少々難しすぎると考えたため、教える際にはまず広東語・英語で説明し、さらに例を挙げて学習者の理解を深めたほうが良いというアドバイスを受けた。また、単語の紹介はいいが、香港人の学習者は漢字から意味を推測・発音しがちであるため、漢字に振り仮名を付けて読み方を教え、また、漢字よりカタカナの単語を教えたほうが効果的であるとも指摘された。さらに、「カップルのけんか」の番組ではせっかく関東と関西の比較があったので、学習者に東西の言葉や文化の違いについて例を挙げ、詳しく説明したほうが面白いのではないかというコメントも受けた。なお、教材で番組に出てきたことわざを紹介したが、やはり難しいと感じられ、代わりによく耳にする言葉を紹介したほうが効果的ではないかという指摘もあった。

次に授業について、授業のときに学習者が緊張していると感じ、特に会話練習の時、学習者が緊張しているせいであまり話さないというコメントがあった。Sさんはまず番組について簡単な質問をし、学習者たちをリラックスさせてから会話の練習を始めるべきだと助言した。特に初級レベルの日本語の学習者に対し、内容が難しすぎるとわからなくて挫折感を感じやすくなるため、教師はよく学習者を観察し、分からないと気づくと説明を入れて学習者に自信を付けさせることは大切だと教えてもらった。

最後は学習量について2時間の授業で2つのテーマも教えるのは内容が濃縮され、内容が面白くても、学習者に無理やりたくさん情報をインプットしてしまい、逆に理解しきれないのではないかという指摘があった。確かに今回は会話しか考えていなかったもので、より多く教える一心で学習者に対する配慮が足りなかった。

4.3 教師の内省・改善

岡崎（1997）は自分や他の教師のクラスでの教授・学習過程を理解するために、教授過程を観察して振り返る中で教授・学習過程の重要な諸点を発見していく教師を「内省的実践家」として位置付けた。教師は内省を通して、授業の改善やスキル向上を期待できる。

そこで、私達は「授業自己評価シート」を用いて自己評価を行った。表 2 に評価シートの構成と質問項目を挙げる。

表 2：教師による自己評価シートの構成と質問項目

構成	質問数	回答方法	質問内容
A. 授業の目標について	2	記述式	① 今回の授業の目標 ② 学習者についてのこと・イメージ
B. 授業の目標の達成について	4	記述式	① 学習者の分かった・分からなかったこと ② 学習者が分かったきっかけ ③ 学習者が分からなかった原因
C. 学習者について	4	記述式	① 学習者が興味と引いた・引かなかったこと ② 学習者の参加率 ③ 学習者に対するイメージの変化 ④ クラスの雰囲気
D. 教師自身について	2	記述式	① どういう工夫がされたのか ② 授業の進み速さの適切性
E. 授業の全体について	3	記述式	① 参考になる学習者の意見 ② 授業改善のための方策 ③ 全体的な自己評価

まずは今回の授業では、学習者が主に媒介語を使用して日本語を勉強してきたため、積極的に話してくれるか、内容が難しすぎではないかなどの心配があった。内容の点は、やはり単語の説明が足りなかったため、十分に理解してもらえなかった。また、ことわざは専門的なものであり、学習者のレベルに合っていないとの指摘があった。確かに指摘の通り、「カップルのけんか」の内容はやや設定が難しかった。同じクラスでもレベルの差があるため、教師が内容をデザインするときは全員を考慮し、バランスを取って教材を作らないといけないと改めて考えさせられた。また、S さんからのアドバイスとして、自分の母親が教えているときは必ず単語を毎週繰り返してインプットするといい、一回だけの説明では完璧に理解することは難しいという。

次に、全体の授業を見渡し、学習者たちは予想通り積極的に話さなかった。しかし、少し質問してみて、誘導してみたら徐々に話すようになった。今回、学習者が積極的に話さなかった原因として、授業が教師主導になりがちであったためだと考えられる。学習者達がなかなか自発的に話さないため、教師が一方向的に質問する形になってしまった。今後の授業では、まずは学習者達がグループで話し合ってから発表してもらったほうがいいだろう。

そして、話すスピードについては学習者からは適切だと評価されたが、自分達の観察では少々速かったように感じる。日本語レベルの低い学習者には少し難しかったようで、何回か繰り返したり、広東語を入れたりして理解を促すことにした。なお、「カップルのけんか」の番組では少し関西弁も入っていたので、「分からない」、「聞き取れない」という意見もあった。また、「関西弁について勉強したい」という意見や、関西弁と共通語の違いについての質問もあった。授業で関西弁の紹介を少し取り入れていけば、文化面の理解も会話への理解も深められたのではないかと考えられる。また、「温泉」の授業はゆっくり説明できたことに対して、「カップルのけんか」は少し速かった。振り返ってみると、学習者達はきちんと全ての文法や表現を理解できるのか疑問を持っている。そのため、「温泉」の授業に単語・文法・ロールプレイなどを取り入れるなど内容を少し増やしていれば、充実した授業になったのではないだろうか。

5. 終わりに

本実践を通じて、バラエティ番組の実用性を検証してみた結果、学習者の興味を引き付けることは確実であり、学習者達は授業にも集中していた。だが、今回選択した内容は関西弁なども入っており、学習者には予想外の内容だったと思われる。実際には日常で使用する会話を勉強させたかったが、番組の選択や使える内容を整理するのにかなりの時間と手間がかかり、教師にとっては負担になってしまう。今後の課題として、より簡単に作れる映像教材としてバラエティ番組以外の物を調査する必要があると考えている。例えば、日本人に実演してもらったり、実際の映像教材に工夫を入れたりするなどである。今後は、本実践に参加した学習者のフィードバックと自分たちの考察を参考にし、学習者側にも配慮をし、よりよい教材をデザインし、授業できたらと考えている。

参考文献

- 岡崎敏雄・岡崎 (1997)『日本語教育の実習：理論と実践』 アルク
- 国際交流基金 (2013)『2012年度 日本語教育機関調査 結果概要 抜粋』 くろしお出版
- 国際交流基金 (2012)『2012年度日本語教育機関調査結果』
- < <http://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2014/hongkong.html#KEKKA> >
(2015年4月26日参照)
- 中山英治 (2008) 「授業間の連携を活用したタイの大学における新しい試み—授業の実践報告と映画『男はつらいよ』の教材価値—」 『アジアにおける日本語教育—「外国語としての日本語」 修士課程設立一周年セミナー論文集—』 チュラーロンコーン大学文学部, pp.49-72
- 中山英治 (2012) 「日本語教育における映画の一般的な教材価値と社会参画を支援できる教材価値—『男はつらいよ』を資料として—」 『特集緒言 特集：教室中心主義からの解放』 早稲田大学日本語教育研究センター, pp. 119-137
- 吉村弓子(2010)「映画を用いた日本語教育」 『北海道言語文化研究』 8, 北海道言語研究会, pp.3-12
- 趙晨・鄔彤・滕安麗(2014)「生教材を活用したタスクベースの会話教材の開発」 『日本学刊』 17, pp.133-149

付録資料 1：教科書

01

温泉の入り方

Learning Point ▶ 決まり

習得ポイント ▶ 感想を述べる

▶ 擬態語

▼ 話してみよう！

もう一回ビデオを見ましょう。気になるところをメモして、後でみんなで話し合ってください。

▼ ウォームアップ

A. 下記のイラストを見て、どのマナーを表していますか。

 ア	 イ	 ウ
 エ	 オ	 カ

() 浴場内では走らない
 () 湯船に入る前に汚れた体を洗い流す
 () 湯船に入る時は髪をまとめる
 () 湯船にタオルは入れない
 () 浴場は遊ぶ場所ではない
 () 湯船の中で体を洗わない

Q. 日本のお風呂や温泉に入ったことがありますか。或いは日本の風呂や温泉にどんなイメージを持っていますか。

▼ 単語

B. ビデオを見て、下記の単語を確認しましょう。

しきたり	モニター調査	仕掛け	戸惑い	ざわつき	点呼	スルー
切ない						
洗い場						
不自信						
不機嫌						

C. 下記の類似語はBのどの言葉に当てはまりますか。答えを _____ に書いて下さい。

習慣 _____ 困惑 _____ 見て見ぬふり _____
 企み _____ 心苦しい _____ 断やか _____

＋ プラス① 類義語を身につけよう

寒い季節には、ゆっくり温泉旅行に行くのが一番だ。温泉のお湯は、少し①ぬるぬるして、乾燥して②かさかさした肌が③つるつるになる。湯は、いきびで顔が④ぶつぶつだったが、温泉に入ったら、⑤すべすべになった。

露天風呂は岩で作られていて、お風呂の中を歩くとき少し⑥ごつごつしているが、ひんやりした空気の中で入る温泉はとても気持ちいい。でも、あまり長く入っていると、指先がお湯でふやけて⑦しわくちゃんになるので気を付けよう。

D. 下記のイラストを見て、擬態語の番号とマッチングしてください。分からなかったら解説を参考にしてください。

バラエティ番組を用いた日本語授業の実践及び振り返り
—香港の初級後半・中級の社会人学習者を対象にした実践から—

● 解説

- かさかさ：水分がなくなって、荒れて乾いている様子。薄くて乾燥した葉などが触れ合った時の音にも使う。
- ぶつぶつ：小さな粒のようなものが表面にあったり、たくさんの穴があって凹凸がある様子。
- しわくちゃ：年を取ったり笑ったりして、しわがたくさんできる様子。また、紙や布などが折れてしわができて、表面が滑らかでない様子にも使う。
- こつこつ：岩のように表面が硬くて、でこぼこがあり、滑らかでない様子。
- つるつる：物の表面に凹凸や傷がなくて、滑りそうなくらいとても滑らかな様子。めん類をすすって食べる音も表す。
- すべすべ：布や肌などの表面が滑らかで、撫でも摩擦がなく気持ちがいい様子。
- めるめる：表面に粘り気があって、触ると滑るような感じを表す。

D もう一度ビデオを見て、イントネーションを注意しながら、下記の表現を確認してみましょう。下記のフレーズはどの表現ですか。

ア) 文句を言う イ) 言い訳する ウ) 行為を要求する エ) 提案

- 1 言ってほしいタイミングに言ってくれたことないじゃん ()
- 2 不安なんでもん ()
- 3 彼女が「言ってほしい」って言ってるんだから、言った方がいいと思います ()
- 4 断ればいいじゃん、行かなくても良くない? ()
- 5 私だったら断るけどね! ()
- 6 付き合いかもあつてでしょ? ()
- 7 バレる嘘はつかないほうがいいと思います。つくなら突き通した方がいいと思います。 ()

▼ プレインストーミング

D. ビデオを見る前に問東編を思い出して、みんなで問西編の内容を予想してみましょう。

▼ 話し合う

E. 今度は問西編を見て、あなただったらどういうアドバイスするの話し合ってみましょう。

01 温泉の入る方 参考・引用した教材

① ビデオ教材

ニンゲン観察バラエティ「モニタリング」
2013年10月10日放送 「温泉に変な生きりがあったら」

② 擬態語表現

絵でわかる日本語使い分け辞典 1000
萩原雅洋子・2008・アルク

02 カップルの喧嘩

Learning Point ▶ 不満・文句
習得ポイント ▶ 提案

▼ ウォームアップ

A. この二つのことわざの意味を考えてみてください。

1) 触らぬ神に祟りなし



2) 夫婦喧嘩は犬も食わない



Q. 今まで友達から、失敗した話や失態した話など打ち明けられたことがありますか。その時、あなたはどうしましたか。何か言ってあげましたか。

▼ どう思いますか

C. まずは問東編のビデオを見て、どんな文句・不満を言ったのか、またその文句・不満にどのようなアドバイスがあったの聞き取り、メモしてください。

	どんなことについて文句を言ったのか	どういうアドバイスがあった
1		
2		

+ プラス① 参考表現ノート

文句を言う時

- ・ちゃんと説明してくれないと、分からないじゃない。
- ・どうして、昨日来てくれなかったの?
- ・いつになったら返してくれるわけ?
- ・休んだら、前もって言っといてほしかったんだけどな。

言い訳する時

- ・朝、目覚ましが鳴らなかったんだ。
- ・だって、買したと思っていたんだもん。
- ・そのこと、田中さんも知ってるって思ってたから。

行為を要求する時

- ・早く返してほしいんだけど。
- ・来ないんだら、連絡してくれないと、困るんだけど。
- ・どうしてできないのか、ちゃんと説明してくれてもいいんじゃない?

提案を述べる時

- ・打ち上げは5時からっていうのは?
- ・待ち合わせは現地でしたら?
- ・ここで決めずに、課長に相談してからでもいいかなって。

02 カップルの喧嘩 参考・引用した教材

① ビデオ教材

ニンゲン観察バラエティ「モニタリング」
2013年06月20日放送 「隣のカップルがケンカしたら」「東京編」・「大阪編」

② 参考表現

聞いて覚える話し方 日本語生中級 中～上級編
橋本総子、宮谷敦美・2004・くろしお出版

付録資料2：評価シートのテンプレートと授業自己評価シート

添付：評価シート 授業を終わって、この授業を評価してみましょう。

この授業の中、以下5段階評価で回答してください。5は「強く思う」、1は「思わない」である。

	強く思う	思う	どちらでもない	思わない	
1. ビデオは面白い	5	4	3	2	1
2. ビデオの内容は適切である。	5	4	3	2	1
3. パラエディ番組を用いた教え方は分かりやすい	5	4	3	2	1
4. パラエディ番組を用いた教え方に満足している	5	4	3	2	1
5. 単語や文法の内容と練習は適切である	5	4	3	2	1
6. プラス音の内容は役に立つ	5	4	3	2	1
7. 授業内容は日常に使える	5	4	3	2	1
8. 先生の話すスピードや言葉遣いなどは適切である	5	4	3	2	1
9. パラエディ番組と話し合う教え方は日本語の学習を楽しくなる	5	4	3	2	1
10. 学習量は適切である	5	4	3	2	1

▼ この授業でよかったところを教えてください。

▼ この授業で難しかったところを教えてください。

▼ この授業で改善してほしいところを教えてください。

引かなかった部分	ことわざの練習と会話 語は難しすぎて、会話は恥ずかしいのでなかなか話してくれない
----------	---

⑦ ②で書いた、授業を受ける前の授業目標に関する学生の知識やイメージは、授業を受けた後にどのように変化したのか
・学生のレベルはバラバラだったので、授業内容の設定は難しかったかもしれない。
・最初は特定なレベル（中級）の学生のために作った教材なので、教材通りに授業を進むと、レベルの低い学生が付いてくることが大変だったみたい
・予想通りに楽しい授業にされたけど、やはり積極的に話してもらうことはやや難しかった。しかし、少し話を誘ってみたら、段々自ら話してくれるようになった

⑧ 学生は授業に積極的に参加したのか
(4 大変積極的、3 積極的、2 あまり積極的ではない、1 消極的)

3
その理由：最初はお互い初対面なので、緊張な雰囲気だったけど、授業はちゃんと聞いてくれた。また、学生たちは同じ会社の同僚のため、分らなくなった時はお互いに質問したり、話あったりしたことから、積極的に授業に参加していると思う。

⑨ 授業に積極的に参加する雰囲気はクラス全体にあったのか
(4 大変積極的、3 積極的、2 あまり積極的ではない、1 消極的)

2
考察できること：全体という、やはり参加する男子より、女子の方は少し恥ずかしくて、話誘ってもなかなか話してくれない。話してくれたとしてもすぐ話が終わってしまう。

⑩ 担当教師の説明・板書・プリントなどが工夫されていたのか
(4 大変よかった、3 よかった、2 あまりよくなった、1 よくなかった)

3
考察できること：授業を行った部屋にはホワイトボードもあったので、分らない単語の振り仮名などを書いていました。また、授業のサポートとして広東語を入れている。プリントはイラストや色使いを入れることで、興味を引きつけたと思う。

⑪ 授業の進む速さは学生にとってどうであったのか
(4 最適であった、3 適切であった、2 速すぎた、1 遅すぎた)

2
考察できること：やはり教材は中級者向けだったので、授業のスピードもちょっと遅すぎたかもしれない。授業終わったら全部分かっているのを確認すると、少し時間が必要だと感じた。やはり説明が足りなかったの、学生はみんな付いてこれなかった。

授業自己評価シート

授業日：2015年4月7日

記入者：李（日本語担当）

① 本日の授業目標（自分で教えたかった内容）

・学生者の会話能力を高める
・より自然な会話方法（日常会話に近いもの）
・文法＆単語：依頼、提案、ルールに関する

② ①の授業目標について、授業を受ける前に学生が分かっていること、イメージすること

・日系会社で働いている
・日本語能力試験の合格者（2級くらい）
・実際にこの日初めて学生たちと会い、始まる前に少しだけ話して、予想より初級者が多かった
・会話を向上したいと聞いたので、積極的に話してくれるのから心配
・みんなが面白い人と聞いたので、楽しい授業になりそう

③ ①の授業目標について、学生が分かったこと、分らなかったこと

分かったこと	分らなかったこと
〇〇について	
温泉でのマナー、温泉のイメージ	温泉マナーについての単語は理解している
温泉と風呂（銭湯）の分別	
精進語（廻り語）	よく耳にするので意味は大体知っている
	似ているので分別するのが難しい
ことわざ	意味が分からなかった
授業で使ったビデオ	字幕についてのビデオは関西弁が出ているので、わからなかった

④ ③の学生に分かったことについて、いつ、どんなきっかけで分かったか

① 練習については答えを言ってもらう時に理解しているのがわかる
② 精進語についてはみんながグループになって話し合っている様子を見て、単語は聞いたことあり、意味は知っているけど、区別はちょっと分らないと言っていた
③ ビデオについては授業終わりに、学生たちのフィードバックを聞いた

⑤ ③の分らなかったことについて、学生が分らなかった原因

① 精進語のため、広東語に変更すると同じ意味だけど、日本語では少し違いあることから区別が難しかった。しかし、解説のページを見たらちゃん理解してくれた。
② ことわざについては日常にあまり使えないもので、初めて知ったという
③ 関西弁は少し聞き取れないところもあった

⑥ この授業で、学生の興味を引いた部分、引かなかった部分

引いた部分 精進語の練習・ビデオの内容が一番興味を引いた感じ

1

⑫ 授業評価シートの分析を通じて、下の表をまとめてください。

参考になると思われる学生からの意見	今後の授業改善のための方策
1) 単語には振り仮名を付け、一語一語説明する 2) できれば方言のないビデオを選択、子供向けのアニメを使った方がいかもしれない 3) 単語や語例文などを用いて、もう少し詳しく説明	1) 単語には振り仮名を入れる。単語の説明に工夫する 2) 教材としてアニメやドラマを用いる可能性 3) 文法などはきちんと説明してから授業を始める
分析を通じた自己評価	日本語担当だったが、事前には学生のレベルを把握できなかったで、自分の思ういい教材を作った。でも、実際にはクラスに参加してくれた学生のレベルはそれぞれだったので、教材作りはレベル違ってでも使えるものにしたほうがいいと思った。また、授業当時の話とスピードも早かったとは自分も気づいたが、いつも癖学生に合わせて、柔軟な対応はできなかった。今後は少しスピードを落とすと心をかける。そして、今回は教師主導な形になりながら、学生に威圧感を与えたかもしれない。今度からは学生主導な形にした方がもう少し授業を積極的に参加するだろう 全体的には学生も満足しているの、やり甲斐のある授業だと思う。

2

3